

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	24	学校名	静岡県立伊豆の国特別支援学校 伊豆松崎分校	校長名	松本 仁美
------	----	-----	--------------------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 学校教育目標

良さが輝き 未来をひらく

一人一人が確かな学びを積み重ね、仲間や地域とつながりながら、自分の良さを生きる力へと輝かせ、夢や希望をもち、自ら未来をひらく（「開く」「拓く」「啓く」）人を目指す。

校訓：地域で学び 地域に生きる人

(2) 目標具現化の柱

- ア 【安全・安心】 命と健康を守り、人権を尊重し、一人一人を大切にする学校
- イ 【専門性】 確かな力を積み上げ、一人一人の良さを引き出す学校
- ウ 【連携】 保護者や地域と連携し、生徒の社会参加を目指す学校
- エ 【チーム学校】 教職員が主体的に学校づくりに参画する学校

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

【安全・安心】 命と健康を守り、人権を尊重し、一人一人を大切にする学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生命の尊さや人とのつながりを大切にし、一人一人の良さを受け入れ、互いを思いやる心の醸成	・生徒の命を第一に考え、一人一人の気持ちや願いを受け止める支援の充実	経営計画に基づき、生徒の人権が守られ、生徒の良さが生かされていると答える教職員や保護者（AB100%）	指導健康安全課 学部
		・人権感覚を高め、風通しのよい雰囲気づくりといじめや教職員の不祥事を見逃さない体制づくり	不祥事根絶に向けて自身の行動を振り返ることができた教職員（AB100%） お互いを認め合う「自己指導能力」が高まった生徒（AB80%）	指導健康安全課 学部 企画会
ア	命のつながりを実感する食育や健康な体づくりの推進	・健康で丈夫な体をつくる食事や運動、生活習慣等保健指導の充実	家庭と連携し生徒の健康や健康な体づくりに取り組んだ教職員及び保護者（AB80%）	指導健康安全課 保体科
		・地域の産物や生産者、食材の特長と栄養等6つの食育の視点を意識した食育の実践	食と各教科等の関連を意識した指導をした教職員（AB100%）	指導健康安全課 家庭科 学部
ア	生徒の命を守る安全教育の充実	・実効性の高い訓練方法を探るとともに、緊急時において、主体的に行動できる実践力の育成 ・ヒヤリハットの迅速な報告と共有及び今後にかさず取組	緊急時の対応や防犯防災訓練をとおして生徒の安全を守る行動を身につけた教職員（AB100%） 防災、防犯の備えが身についた生徒（80%）	指導健康安全課 学部

【専門性】 確かな力を積み上げ、一人一人の良さを引き出す学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
イ	主体的・協働的・深い学びによって資質・能力を育成	・研修テーマに基づいた学び合う校内研修の工夫と授業力の向上	生徒の実態や思考の流れに沿った授業づくりを行った教職員（AB90%）	教務研修課 学部

様式第1号

	する授業実践	・個別の指導計画に基づく障害の特性と系統性を踏まえた生きる力につながる授業実践	教科別シートの記録により、障害特性に応じた目標設定や支援ができた教員 (AB90%)	教務研修課 学部
イ	特別支援教育の専門性の向上	・生徒の障害特性に応じた指導の充実のための校内研修の充実	障害に応じた支援についての考え方を深め実践に生かすことができた教員 (AB100%)	教務研修課 学部
		・PCやタブレット活用による主体的学びの推進	ICT活用により、主体的に授業に取り組んだ生徒、また、授業づくりや業務効率化に効果を感じた教員 (AB80%)	教務研修課 学部

【連携】 保護者や地域と連携し、生徒の社会参加を目指す学校

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
ウ	キャリア教育の視点で生徒の願いや夢を大切にした進路指導の充実	・個別の教育支援計画を基に、生徒の実態と将来を見据えた指導の充実	定期的な面談を実施し保護者とともに目標の共有と実現に向けて指導できた教員 (AB100%)	連携進路課 学部
		・生徒の願いや夢を叶えるための地域社会の幅広い情報や、進路情報の提供の充実	生徒に応じた適切な情報提供や、進路指導ができたと答える教員及び保護者 (AB80%)	連携進路課 学部
ウ	保護者や地域住民との協働を推進し、地域と共に歩む学校づくり	・生徒及び教職員が地域で活躍し、地域に貢献できる方法を探り、積極的に活用できる体制づくり	適切な交流を計画し地域に貢献できたと感じる教職員 (AB80%)	連携進路課 学部
		・生徒や教職員と地域住民が、積極的に協働の学びの推進 ・松崎高校と実りある交流及び共同学習のための目標共有と打ち合わせの推進	地域や松崎高校との交流会を活用した学習活動をおして、意欲的に学んだと感じる生徒、教員及び保護者 (AB80%)	連携進路課 教務研修課 交流担当 学部

【チーム学校】 教職員が主体的に学校づくりに参画する学校

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
エ	特別支援学校のセンター的機能の充実及び関係機関との連携の強化	・支援要請に対し、迅速且つ適切な相談と継続した支援の実施	センター的機能による成果の整理及び検証 (毎学期)	企画会 連携進路課
		・外部関係諸機関との連携と、迅速で丁寧につながる支援体制づくり	学校内外の情報共有と、支援会議やケース会議等での案件の整理及び成果の検証 (毎学期)	企画会 連携進路課 学部
エ	教職員一人一人が責任をもった業務遂行と、やりがいを感じる働き方の推進	・教職員一人一人の業務に責任をもち、学校経営参画への意識向上	キャリアステージと自己目標シートに基づき、自身の役割を理解して経営に携わった教職員 (AB80%)	企画会 学部 各分掌
		・業務内容の精選と、教職員一人一人のタイムマネジメント等働き方の意識改革	計画的な業務遂行のために努力し、働き方を改善できた教職員 (AB70%)	企画会 学部・分掌